

第119回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和3年11月18日(木)午後1時30分
- 2 場所 熱海市中央公民館いきいきプラザ6F第1会議室
(熱海市中央町1-25)
- 3 委員総数 10名、出席委員数6名、欠席委員数4名
出席委員：館石晃一、白井萌以、深田真弓、小原健、石田浩二、さいとう眞由美
欠席委員：川口正樹、宮下睦史、鈴木なつみ、高橋祐介
放送局側出席者：山崎浩一、金井周平
- 4 前回審議番組の経過 開催通知(6月)に議事録を添付した
※7月・9月は災害とコロナ対策で中止
- 5 議事 番組へのご意見
◆対象番組:トラベルキャスター津田令子の「土曜旅カフェ」
放送日時:毎月第1土曜日 午前9時30分～10時00分(30分録音番組)
(令和3年10月2日オンエア分)

○委員からの意見

- ・旅をする事の楽しさに加え、コロナ過で中々行けない県外の様子が聴けて良かった
- ・コロナ禍が落ち着いたら実際に現地で録音した内容を聴いてみたい
- ・全体的にゆったりとしたテンポでリラックスして聴けた
- ・コロナ禍で厳しい中、黙旅(もくたび)等のフレーズを使って皆さんに印象付けるのは良い。
- ・トラベルキャスターとして旅に精通しているのが感じられた。
- ・季節が感じられるように街歩き参加者インタビューの収録時期がいつなのかわかったほうが良いのでは？

≪局から回答≫

⇒9月中、緊急事態宣言期間中の収録でした。

- ・熱海も湯河原も観光地で、旅行に来ていただく所だが、意外と地元に住んでいる方でコロナ禍でコミュニティの場所に参加出来ず引きこもりがちになっているケースも多いと思うので、ラジオを聴いてちょっと出かけてみようかなと思えるきっかけになる番組だと思う。
- ・放送枠が30分で土曜日の朝放送でちょうど良い。
- ・街歩きの魅力について参加者インタビューの中で参加理由として、その場所の再見、気分転換、一人でも参加できる、参加者たちとの交流、などの答えがあり、コロナ禍でふさがちになっていた状況から解禁になってきた時期なのでちょうどこれからぴったりの番組だと思う。
- ・ラジオならではの良さが出ている番組で映像が無い分、想像力が掻き立てられて分が巣鴨の商店街を旅歩きしている気分になった
- ・黙旅(もくたび)という旅のスタイルもとても参考になった
- ・色々な旅行先を紹介するのは良い。
- ・今回東京の巣鴨の紹介をしていたが巣鴨に全く行った事が無い人が聴くことを想定して、先に巣鴨の紹介をしてからトークしたほうが良いと思う。

- ・現場の臨場感がもう少し欲しかったが全体的に良い内容だった
- ・宣伝したい人もいるかも知れない。番組にコマーシャルを入れることは可能か？

《局から回答》

⇒番組前後のCM枠には挿入可能です。

⇒本番組は出演者が番組枠購入のためコマーシャルは入っておりません。

・コロナ禍でなかなか観光地に来てくださと言いにくい中、街歩きツアーで、黙旅（もくたび）という形で説明文を自分で作って参加者に配るなど、しゃべる機会を減らすなど、感染症対策を独自に考えて実施するなど、観光地側の立場からしても人が来やすいような紹介をしていたのが良かった。

・GoToトラベルの再開も予定されている中、旅をしたほうが良いと言うよりも、様々なコロナ対策もしているという内容紹介が湯河原・熱海の地域にも参考になる

・自分はインターネットで巣鴨のことを調べながら聴いたが、ご年配の方などネット環境を使わない方のことを想定して、先に説明をしてからトークに入った方がその場所をイメージし易いと思った。

・参加者インタビューの部分はBGMが無しでノイズ等も入っていたが津田さん自身が録音しそれを持ち込んだ物なのか？

《局から回答》

⇒コロナ過により昨年4月の番組開始当初からこちらのスタジオに来れない状態のため、全て津田さん自身が録音したものをデータで受け取りこちらで編集するリモート制作となっています。

6 その他（局から報告）

- ・特別番組について

12月11日(土) 19:30-20:30 令和3年度湯河原温泉花火大会ラジオ生中継を放送することになりました。

7 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

次回は、令和4年1月20日（木）に湯河原内で開催することになった。